

平成25年12月定例市議会市政報告

平成25年第6回鉏路市議会12月定例会の開会にあたり、9月定例市議会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

報告の第一は、姉妹都市提携50周年事業についてであります。

本年は、昭和38年10月4日に鳥取市と湯沢市との姉妹都市の提携を行って50周年を迎えましたことから、これを記念して各種記念事業を実施致しました。まず、姉妹都市への訪問団についてであります。

湯沢市への訪問につきましては、9月24日から27日までの日程で実施し、表敬訪問や歓迎レセプションに臨ませていただき素晴らしい歓迎を受けました。鳥取市への訪問は、10月17日から20日まで、観光交流都市の岡山市とともに訪問し、記念式典と植樹を行ったところでございます。

次に、鉏路市において実施した記念式典は、10月5日、市民文化会館を会場に、鳥取市長、湯沢市長、各市の市議会議員の皆様方などをお迎えして開催致しました。鳥取小学校、鳥取中学校、北陽高校の児童・生徒にも協力いただくなかで、50周年の提携書を調印し、友好交流の輪を次の世代に引き継ぐことを誓い、節目の時を刻むことが出来ました。その後の交流会では、江南高校蝦夷太鼓部が演奏する中、3市の特産品を使った料理を楽しみ、最後に鳥取市長の提案により童謡「ふるさと」を参加者全員で合唱し、3市の一体感を深めたところでございます。

このほか、関連事業につきましては、「わがマチいいとこ写真コンテスト」、物産交流、湯沢市特産「三関さくらんぼ」販売のほか、各市特産物を活用した姉妹都市スイーツ開発事業や親子料理教室、学校給食を実施致しました。

また、市立図書館では、3市にゆかりのある歌人展、映画等の上映会や漫画家展の開催、博物館では、鳥取市と湯沢市の「自然と歴史」展や「鳥取地区の郷土芸能」講演会を行ったほか、大学間交流として公立大学の高嶋弘志教授が鳥取市へ赴く一方、鳥取環境大学の小林朋道教授を当市にお招きして、それぞれご講演いただくなど、多彩な記念事業を実施し、多くの市民の心に残る取り組みになったものと考えております。

報告の第二は、平成26年度臨時費予算 元気創造枠（職員提案事業）についてであります。

本事業は、平成24年度の予算編成より「市役所改革プラン」の位置づけの

もとに創設し、庁内各部職員からの積極的な提案が図られており、本年度、28事業を実施しているところであります。

平成26年度の元気創造枠予算については、テーマを政策プランの4つの実践ビジョンとして設定したうえで、11月7日、8日の両日で、プレゼンテーション審査会を実施し、事業を決定致しました。

今年度は、審査会場では、特に若手中堅職員が、様々に工夫したパワーポイントの資料などを駆使し、地域資源やITの活用による事業実施案についてプレゼンテーションを実施し、審査の結果、新規事業の採択件数は最終的に15事業、提案事業費は総体で69,686千円となりました。なお、今後継続事業分も含め、予算編成の中で事業内容及び予算額の査定、調整を行うこととしております。

今後とも釧路市の持つ資源、特性を最大限に活かしながらプラス成長を目指していくため、柔軟な発想に基づく職員の提案を大いに活用して、政策プランを推進する事業の構築に努めて参りたいと考えております。

報告の第三は、日本・ベトナム友好年記念セミナーについてであります。

10月22日に、ドアン・スアン・フン駐日ベトナム大使閣下をはじめとするご来賓をお迎えし、釧路市と在釧路市ベトナム名誉領事館主催の「日越友好年記念セミナー in くしろ」を開催いたしました。

釧路市では「釧路コールマインの研修事業」を通じて、ベトナムとの交流が進んでおり、これからもより一層ベトナムとの友好関係を促進することを目的として開催し、市民、釧路市議会議員、また釧路コールマインの研修生や、近年「サンマの輸出」を通じて交流されている根室市の長谷川市長にもお越しいただくなど、約200名のご出席をいただきました。

セミナーにおきましては、石炭エネルギーセンターの中垣会長より石炭に関する基調講演をいただき、パネルディスカッションでは現在行われている交流事業の現況と今後の展望について意見が交わされました。

セミナー終了後のレセプションには、北海道経済産業局長や北海道経済部長など広く北海道全域から各界の方々をお迎えし、地元の特産品を活用した料理や地酒をご賞味いただきながら、和やかに交流を行い、固い信頼の絆を深めさせていただいたところでございます。

また、フン大使からは釧路コールマインで行われている研修事業に高い評価をいただくことができました。今後も釧路コールマインにおける研修事業が継続され、日本とベトナムとの友好関係が益々発展するよう努めて参ります。

報告の第四は、ベトナム及び台湾訪問についてであります。

最初に釧路地域活性化協議会事業といたしまして、釧路管内の首長らとともに、11月12日から14日までの日程でベトナムを訪問致しました。

首都ハノイや経済の中心都市ホーチミンにおきまして、現地の政府機関や商工会議所をはじめ、旅行会社、輸出入関連企業、現地スーパーマーケットなどを訪問し、釧路地域の豊かな自然や、安心・安全な農水産物が供給できる優位性などをPRしてまいりました。

現地旅行会社からは、釧路地域のタンチョウなど、冬の北海道観光の魅力やツアー造成等の情報収集と現地視察を行いたいとお話があり、協議会側からも情報提供等の協力を行うことと致しました。

今後の釧路地域との交流につきましては、ベトナム商工会議所の国際関係部局を窓口として、さまざまな形でサポートをいただくこととなりました。

また、石炭の関係であります。釧路市議会議員9名の皆様とともに、釧路コールマイン株式会社で行われている研修事業のベトナム側窓口である国営石炭産物公社ビナコミン及び研修事業に技術者を派遣しておりますナムマウ炭鉱を訪問いたしました。いずれも研修事業に対し高い評価をいただき、研修事業継続への期待感を確認するとともに、今後も研修事業継続にご協力いただけるよう要望してまいりました。

また、続いて訪問した台湾におきましては、昨年9月7日に釧路空港初となる国際定期便を就航している「トランスアジア（復興）航空」の本社に赴き、今後の利便性向上とますますの交流促進に向け、現在の週一便体制から、週二便化への増便を要請してまいりました。

また、台湾の民間航空業務を統括する中華民国交通部民用航空局、日本との窓口機関であります亜東関係協会、さらには、台北市と隣接し、人口約400万人を擁する新北市を表敬訪問し、釧路市のPRと今後益々の交流拡大への協力要請を行ってきたところであります。

報告の第五は、「キリンが街にやってきた！」イベント開催についてであります。

10月12日には、市民待望のキリンの「スカイ君」の一般公開を行うことができました。チャイルズエンジェルの全面協力のもと、「スカイ君」の釧路動物園来園を祝う多くの行事が行われ、天候にも恵まれるなか、14日までの3日間で1万1千人を超える多くの来園者を集め、子供たちの笑顔が絶えない素晴らしいイベントとなりました。「スカイ君」は、釧路市動物園にも慣れて、多くの市民に愛され、人気者となっております。11月16日現在で入園者は昨年度

実績を超え12万人に達しております。

なお、メスのキリン導入につきましては、現在、東京都羽村市動物公園の愛称「コハネ（1歳）」というアミメキリンを繁殖貸与により導入する方向で順調に交渉を進めております。

釧路市動物園にキリンを贈るため、チャイルズエンジェルの皆様方による昨年5月から始めた募金活動が、多くの市民の賛同と協力により大きな流れになり、花を咲かせていただくことができました。ただ、ただ感激と感謝の思い、そして釧路の市民の街を思う心の底力を感じたところでございます。

報告の第六は、建設工事の発注状況についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約127億5,000万円となっておりますが、11月20日現在における発注済額は、約122億4,000万円であり、発注率は、96%、このうち、地元企業への発注は、金額で約109億8,000万円、率では90%であります。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が95%、上水道事業で96%、下水道事業で90%、住宅建設事業は99%の状況となっております。今後とも地域経済の動向を念頭に置き、工事の早期発注に努めてまいります。

以上で、市政報告を終わります。